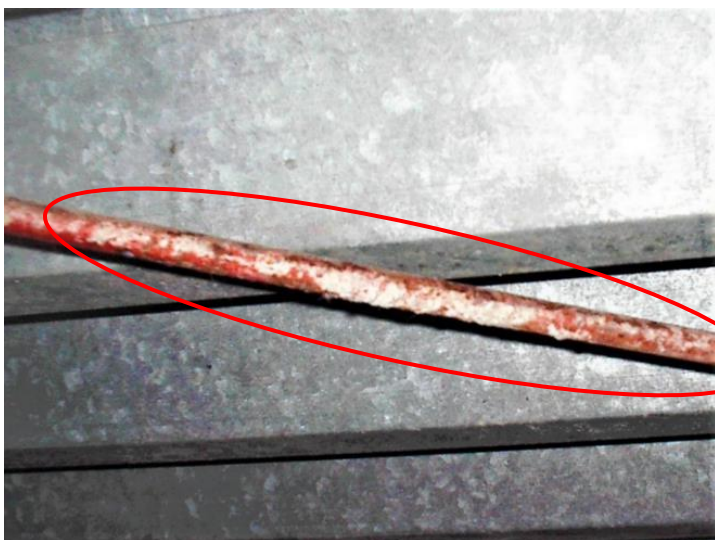


## 1. 石綿含有吹付け材



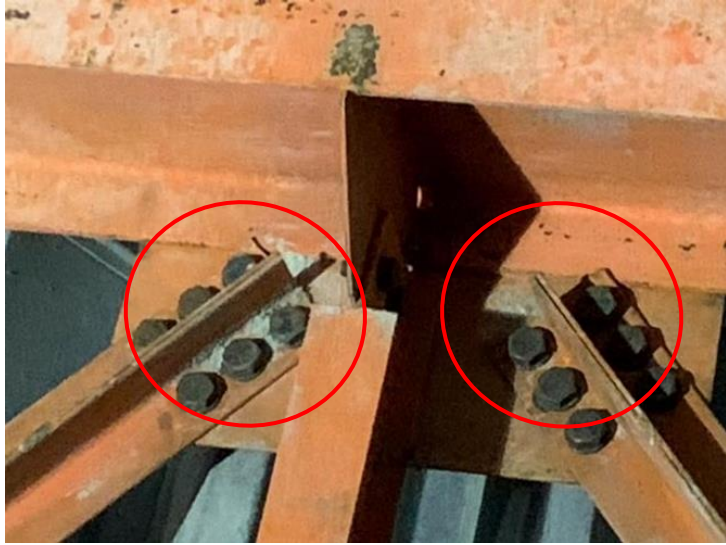
鉄骨梁の空洞ダクト貫通口でダクト取り外し時取り残しが確認された。



鉄筋プレスに取り残された吹付け石綿



屋根折板部に発見された取り残しの石綿含有吹付け材



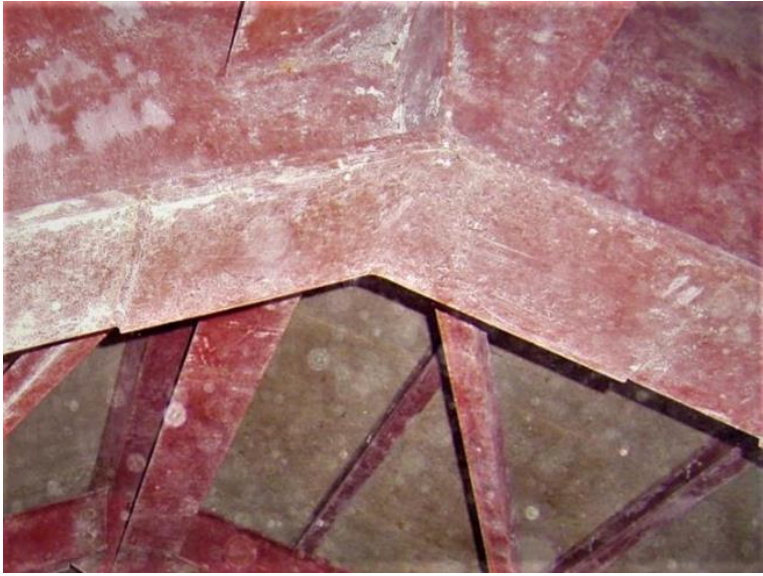
鉄骨梁ボルト部に確認された吹付石綿の取り残し



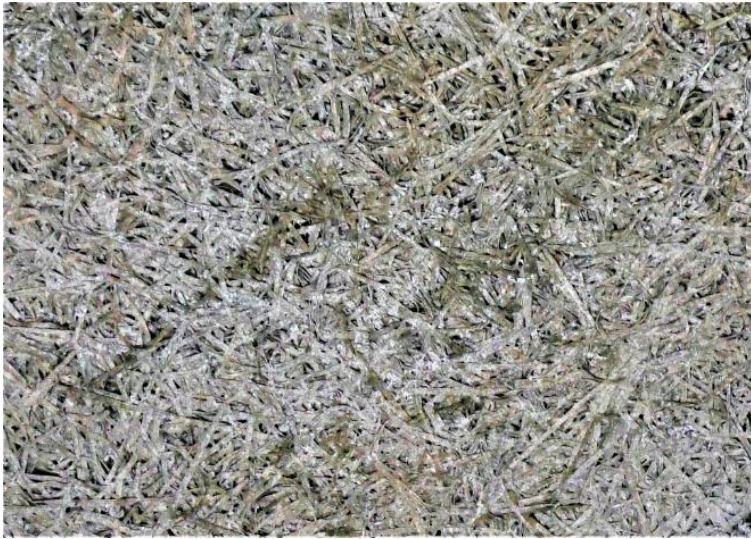
鉄骨梁側面の取り残し



鉄骨梁下の取り残し

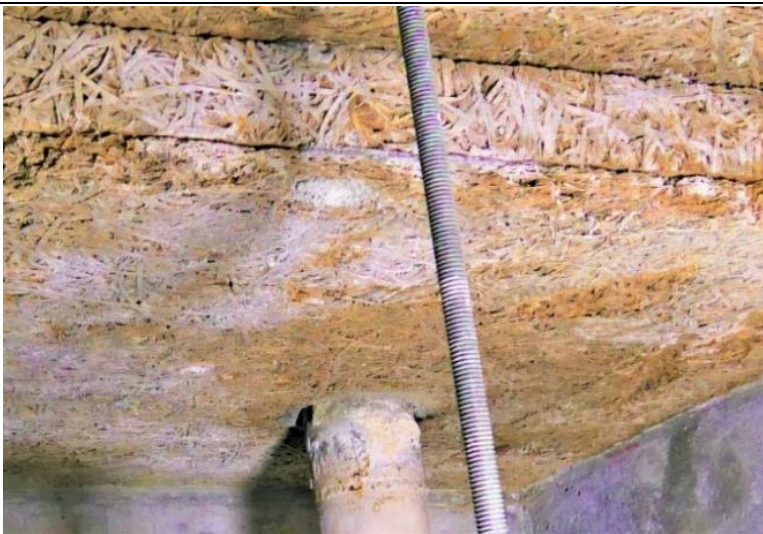


梁面全体の取り残しや清掃不備



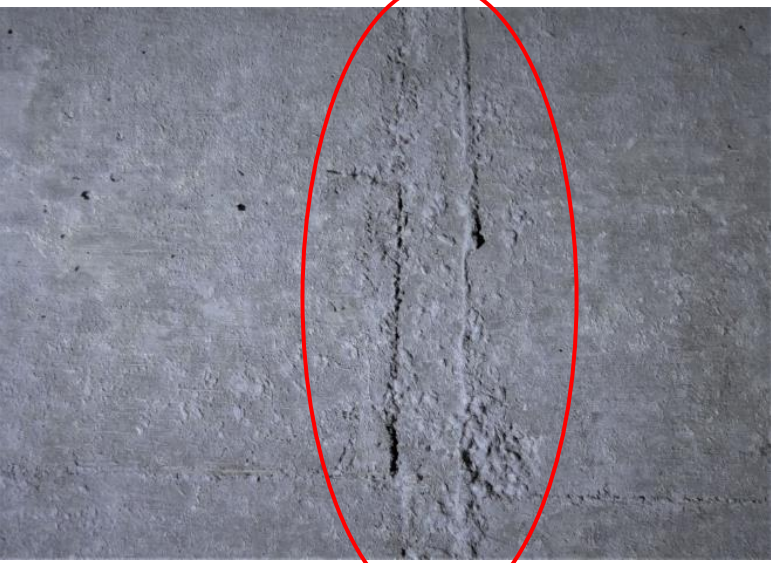


梁の木毛セメント板に食い込んだ石綿含有吹付けロックウールが残存。

(木毛セメント板の隙間に吹付け材が食い込み残在しているので、木毛板全ての除去を行うことが望ましい。)



同上

	<p>コンクリート壁面の石綿含有ロックウールの取り残し</p>
	<p>コンクリート壁と天井との入隅位置の取り残し</p>
	<p>合板型枠の段差部をブラッシングしていないため、取り残しが生じた</p>

	<p>ドアの入隅部分の取り残し</p>
	<p>コンクリートスラブ面、機器固定部の取り残し</p>
	<p>鉄骨梁部の取り残し</p>






腰壁入隅部の清掃不良



電線管ダクター部の清掃不良



鉄骨デッキプレート部の  
石綿含有吹付けひる石の  
取り残し(剥離剤併用手工  
具ケレン工法)

	<p>タイトフレーム部に取り残しの石綿含有吹付け材が残存(折板には石綿含有吹付け材を除去後、石綿非含有の断熱材を吹付け)</p>
	<p>タイトフレーム部の石綿含有吹付け材取り残し</p>
	<p>同上</p>

## 2. 石綿含有煙突断熱材

	<p><b>カポスタック</b> 水量や圧力等が不足なために煙突頂部以外は除去されていなかったケース。完了検査時に煙突内へ蒸気が充満して目視確認が不完全であった事例。 (高圧噴射水は壁面等に衝突した瞬間、衝突エネルギーが熱エネルギーに移行する為温水へ至る。そのため除去後煙突内には蒸気が立ち込め目視並びにビデオカメラで完了検査を実施する際は高い負圧の集じん排気装置にて換気をしないと目視確認も撮影もできない)</p>
	<p><b>カポスタック</b> 煙突内面全体に除去された石綿飛沫が付着し、段差部へは大量に石綿塊が確認される。(高圧水圧は 200M Paではあるものの水量が不足のために十分な除去と洗浄が出来ていない。)</p>
	<p><b>カポスタック</b> 煙突断熱材の接合段差部(写真中央右)へカポスタック断熱材が食い込み残存している。 コンクリート打設時カポスタック破片が浮き上がりコンクリートへ食い込みしていた。 (取り残しをビデオカメラで確認後、再度遠隔高圧水洗工法により除去)</p>





### カポスタック

煙突頂部の断熱材端部押さえ目的で耐酸モルタルが施工されている。ハンマー等で破碎出来るので除去も確認も可能だが、カポスタック断熱材の食い込み残存がある。

(煙突頂部なのでのぞくか鏡等を使用し目視確認は容易。)



### ハイスタック

水量が不足と除去速度が早いために破壊力が限定され、円形筋状に白く取り残しが確認されている。



### ハイスタック

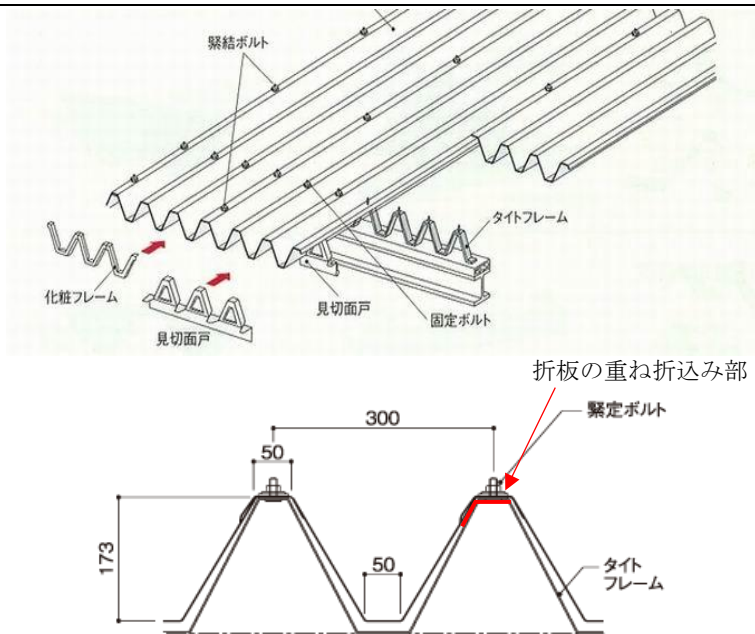
円形筋状に白くハイスタック断熱材の取り残しと、煙突底部には汚染水が残っている。

また、底部コンクリートの外周部に断熱材が食い込み残存していることがある。

更に煙突底部中央部に雨等の侵入水排水ドレンがある場合もあり、除去時には密栓すること。ドレン排水口の土壌が汚染されていることもあり得る。

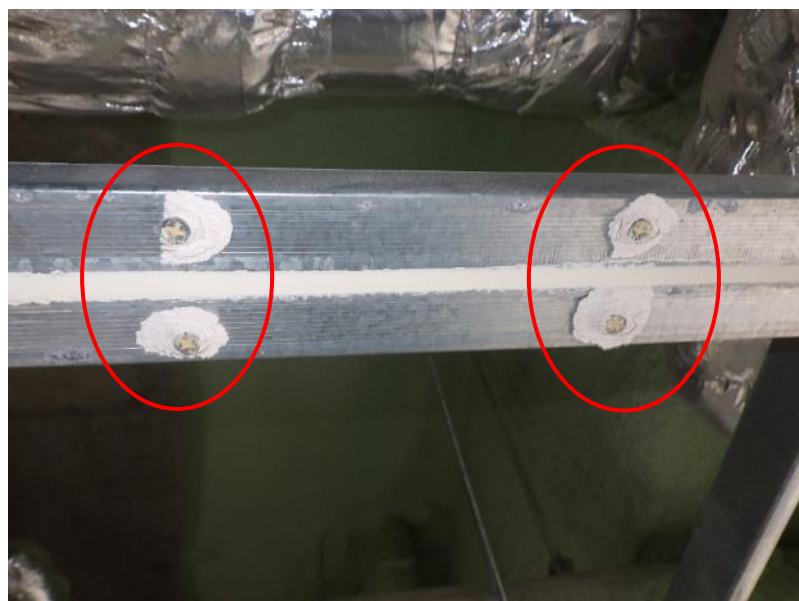


折板断熱材建材(フェルト)  
 折板と折版の重ね折込み部分に  
 シート状の石綿フェルト断熱材  
 が圧縮されて残存している。  
 かすかに白い繊維が確認出来  
 る。



折板の重ね折込み部


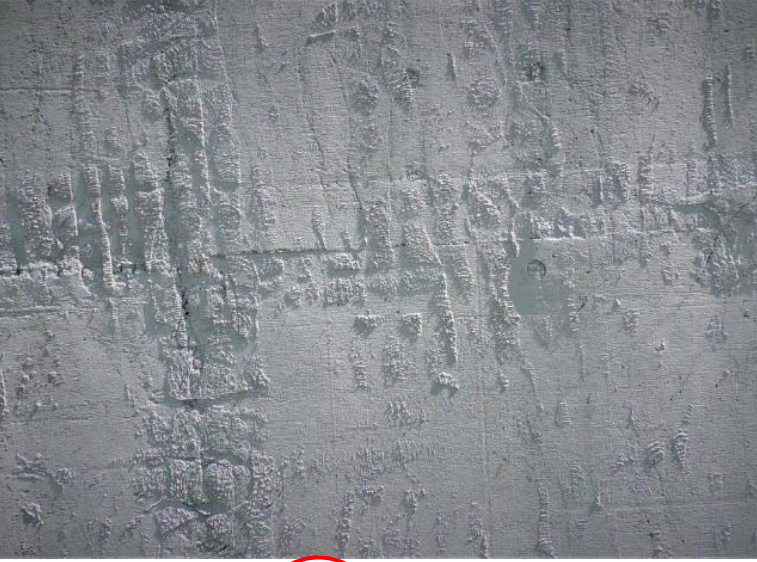

### 3. 石綿含有成形板等



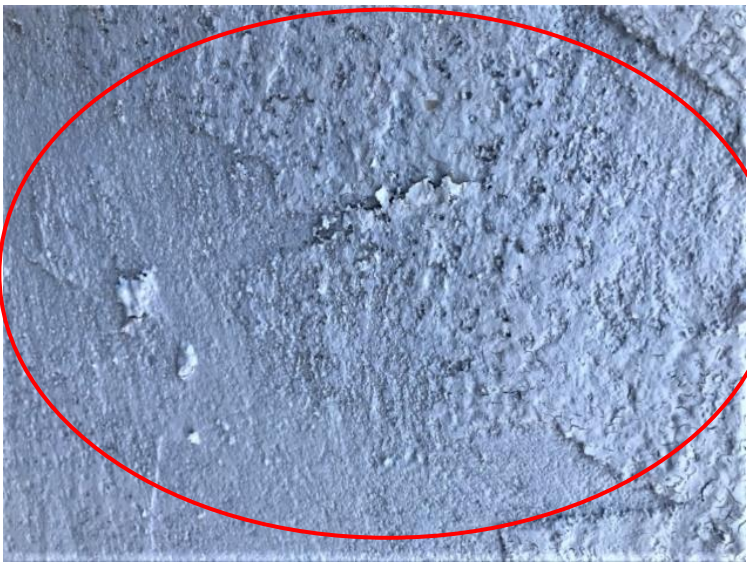


けい酸カルシウム板第1種  
天井面の軽鉄下地のビス部に、  
ケイ酸カルシウム板第1種  
のかけらが取り残されている






スレート板  
木造住宅の木下地のくぎ部分  
に取り残されたスレート板

	<p>下地調整塗材(外壁コンクリート面超高压水洗工法)        ハンド式バキューム研磨機による下地調整材の取り残し        (中央位置)</p>
	<p>下地調整塗材(外壁コンクリート面超高压水洗工法)        ハンドガン噴射除去による取り残し</p>
	<p>下地調整塗材(外壁コンクリート面超高压水洗工法)        ハンドガン噴射除去によるドア廻り付近の取り残し</p>

#### 4. 石綿含有仕上塗材




	<p>外壁コンクリート面仕上塗材 (剥離剤併用手工具ケレン工 法) 剥離剤の効力がなかったの か、建築物正面以外の面は取 り残しが多く、その上には着 色された粉じん飛散防止剤が 散布されていた。</p>
	<p>同上</p>
	<p>同上</p>

	<p>外壁コンクリート面仕上塗材 (剥離剤併用手工具ケレン工 法)</p> <p>コンクリート面にはゲル状と 化した仕上塗材が粘り付き取 り残されている</p>
	<p>外壁コンクリート面仕上塗材 (剥離剤併用手工具ケレン工 法)</p> <p>吹付タイルの凸部が取り残さ れている</p>
	<p>外壁コンクリート面仕上塗材 (剥離剤併用手工具ケレン工 法)</p> <p>上記取り残し面を温水洗浄し ても白い斑点となって取り残 されている。さらに洗浄不足 により飛沫の清掃が不十分。</p>

	<p>外壁モルタル面仕上塗材（剥離剤併用手工具ケレン工法） 除去面全体に水色の仕上塗材が斑点状に取り残されている</p>
	<p>同上 拡大</p>
	<p>同上 拡大</p>




	<p>外壁 ALC 面仕上塗材（剥離剤併用手工具ケレン工法） 全体的に仕上塗材が取り残されている</p>
	<p>同上 一部に2回目の剥離剤を塗布して除去したが、黒色の下地調整塗材の表面には取り残しを確認される</p>



	<p>内壁コンクリート面仕上塗材 (剥離剤併用手工具ケレン工 法)</p> <p>比較的下地調整塗材が平滑で あるが、白色のゲル状の仕上 塗材の取り残しがある</p>
	<p>同上</p>
	<p>同上</p>

	<p>外壁コンクリート面仕上塗材 (ディスクグラインダーケレン工法)</p> <p>ディスクグラインダー切削刃が平らなため下地凹部に仕上塗材(白色)が取り残されている</p>
	<p>同上</p>
	<p>同上</p>

	<p>外壁 ALC 面仕上塗材（ディスクグラインダーケレン工法） 赤色の仕上塗材の取り残しが確認される</p>
	<p>同上</p>
	<p>別の壁面は取り残しがみられない</p>

	<p><b>外壁コンクリート面仕上塗材 (超高压水洗工法)</b>          ハンドガン噴射水による除去          で白色仕上塗材の取り残しが          みられる</p>
	<p><b>外壁コンクリート面仕上塗材 (超高压水洗工法)</b>          ハンド式バキューム研磨機に          による除去でのオレンジ色仕上          塗材の取り残し</p>
	<p><b>外壁コンクリート面仕上塗材 (超高压水洗工法)</b>          ハンド式バキューム研磨機に          による肌色仕上塗材の取り残し</p>